

①人 口

C0101 人口規模

1) 人口総数及び増加数

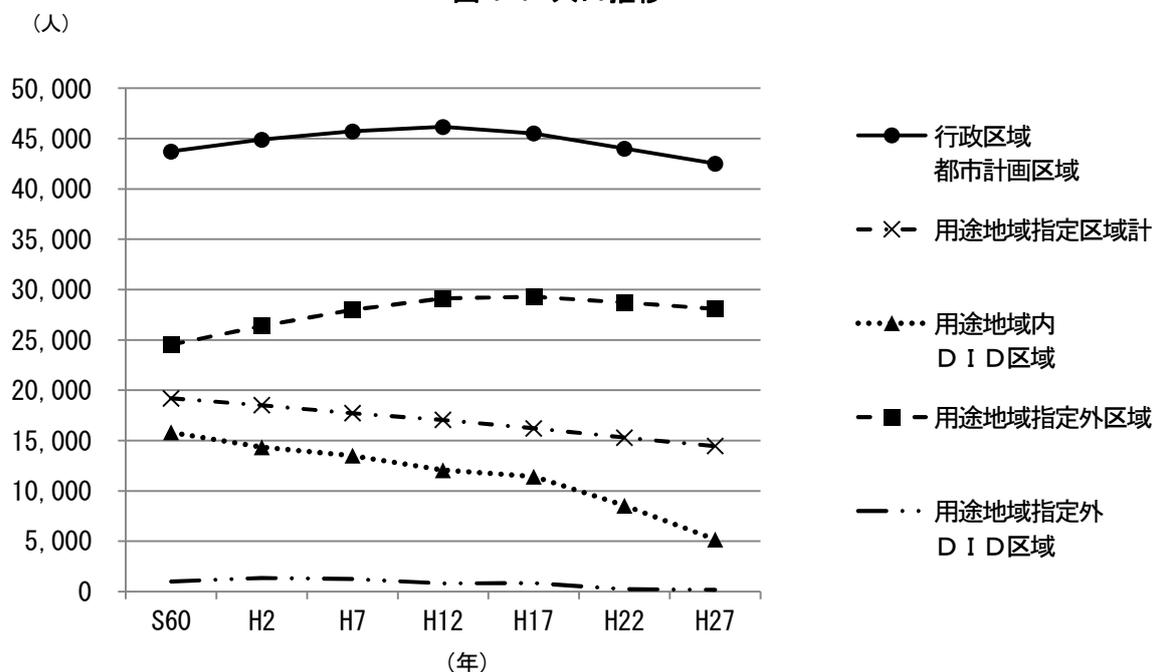
平成 27(2015)年の小諸市の総人口は 42,512 人(平成 27(2015)年国勢調査)となっており、平成 12(2000)年の 46,158 人をピークに減少傾向にある。区域別の人口構成をみると用途地域人口は 14,444 人(全人口の 34.0%)、用途地域指定外区域人口は 28,068 人(全人口の 66.0%)である。これを平成 22(2010)年と比較すると、用途地域指定区域では 5.5%減少、用途地域指定外区域では 2.2%減少となっている。

表 1-1 人口推移

区 域	平成 7 年 (1995)	平成 7 年～12 年 の増減		平成12年 (2000)	平成 12 年～17 年 年の増減		平成17年 (2005)	平成 17 年～22 年 年の増減		平成22年 (2010)	平成 22 年～27 年 年の増減		平成27年 (2015)
	人 口 (人)	人 口 (人)	率 (%)	人 口 (人)	人 口 (人)	率 (%)	人 口 (人)	人 口 (人)	率 (%)	人 口 (人)	人 口 (人)	率 (%)	人 口 (人)
行政区域	45,710	448	1.0	46,158	-659	-1.4	45,499	-1,502	-3.3	43,997	-1,485	-3.4	42,512
都市計画区域	45,710	448	1.0	46,158	-659	-1.4	45,499	-1,502	-3.3	43,997	-1,485	-3.4	42,512
用途地域指定区域計	17,719	-675	-3.8	17,044	-836	-4.9	16,208	-920	-5.7	15,288	-844	-5.5	14,444
うち D I D 区域	13,496	-1,434	-10.6	12,062	-638	-5.3	11,424	-2,887	-25.3	8,537	-3,368	-39.5	5,169
用途地域指定外区域	27,991	1,123	4.0	29,114	177	0.6	29,291	-582	-2.0	28,709	-641	-2.2	28,068
うち D I D 区域	1,238	-424	-34.2	814	25	3.1	839	-609	-72.6	230	-54	-23.5	176

資料：国勢調査

図 1-1 人口推移



2) 年齢・性別人口

年齢（3区分）別人口みると年少人口、生産年齢人口は平成7（1995）年から平成27（2015）年にかけて減少傾向にあり、老年人口は増加傾向にあることから少子高齢化の進行がうかがえる。（平成27（2015）年：年少人口比12.6%、老齢人口比30.2%）

平成27（2015）年の5歳階級別性別人口では、65-69歳が男女ともに最も多く、この年齢層を中心として壺形の人口構成となっており、30歳以下の若年層が少ない構造にある中、特に20代前半の人口が最も少ない。

表 1-2 5歳階級別年齢・性別人口推移

単位：人

年 階層	平成7年(1995)			平成12年(2000)			平成17年(2005)			平成22年(2010)			平成27年(2015)		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
0~4	2,569	1,332	1,237	2,281	1,202	1,079	1,970	998	972	1,853	965	888	1,595	772	823
5~9	2,504	1,268	1,236	2,374	1,240	1,134	2,127	1,095	1,032	1,908	975	933	1,842	963	879
10~14	2,828	1,460	1,368	2,405	1,202	1,203	2,356	1,224	1,132	2,096	1,085	1,011	1,934	982	952
年少人口	7,901	4,060	3,841	7,060	3,644	3,416	6,453	3,317	3,136	5,857	3,025	2,832	5,371	2,717	2,654
15~19	2,883	1,516	1,367	2,540	1,316	1,224	2,235	1,107	1,128	2,187	1,140	1,047	1,917	961	956
20~24	2,617	1,349	1,268	2,450	1,257	1,193	2,128	1,090	1,038	1,721	820	901	1,508	770	738
25~29	2,798	1,408	1,390	3,260	1,737	1,523	2,754	1,391	1,363	2,097	1,092	1,005	1,787	887	900
30~34	2,864	1,460	1,404	2,912	1,485	1,427	3,023	1,603	1,420	2,771	1,404	1,367	2,117	1,071	1,046
35~39	2,909	1,508	1,401	2,820	1,479	1,341	2,690	1,336	1,354	2,979	1,560	1,419	2,709	1,390	1,319
40~44	3,346	1,726	1,620	2,766	1,440	1,326	2,710	1,368	1,342	2,737	1,356	1,381	2,948	1,507	1,441
45~49	3,686	1,913	1,773	3,316	1,720	1,596	2,761	1,424	1,337	2,670	1,360	1,310	2,693	1,335	1,358
50~54	3,049	1,556	1,493	3,667	1,921	1,746	3,208	1,637	1,571	2,677	1,385	1,292	2,631	1,353	1,278
55~59	2,540	1,259	1,281	3,033	1,568	1,465	3,642	1,858	1,784	3,173	1,591	1,582	2,651	1,346	1,305
60~64	2,767	1,303	1,464	2,533	1,227	1,306	3,008	1,531	1,477	3,605	1,794	1,811	3,138	1,551	1,587
生産年齢人口	29,459	14,998	14,461	29,297	15,150	14,147	28,159	14,345	13,814	26,617	13,502	13,115	24,099	12,171	11,928
65~69	2,818	1,306	1,512	2,701	1,272	1,429	2,445	1,163	1,282	2,936	1,469	1,467	3,571	1,773	1,798
70~74	2,217	899	1,318	2,643	1,188	1,455	2,525	1,139	1,386	2,361	1,106	1,255	2,803	1,372	1,431
75~79	1,493	605	888	1,983	785	1,198	2,355	1,011	1,344	2,258	987	1,271	2,157	989	1,168
80~84	1,078	401	677	1,225	469	756	1,630	584	1,046	2,002	790	1,212	1,911	782	1,129
85~89	563	185	378	747	236	511	866	298	568	1,262	390	872	1,517	514	1,003
90~	182	52	130	324	73	251	547	132	415	687	177	510	898	205	693
老齢人口	8,351	3,448	4,903	9,623	4,023	5,600	10,368	4,327	6,041	11,506	4,919	6,587	12,857	5,635	7,222
年齢不詳	0	-	-	178	129	49	519	342	177	17	17	-	185	100	85
合計	45,711	22,506	23,205	46,158	22,946	23,212	45,499	22,331	23,168	43,997	21,463	22,534	42,512	20,623	21,889

資料：国勢調査

図 1-2 年齢区分別人口構成比の推移

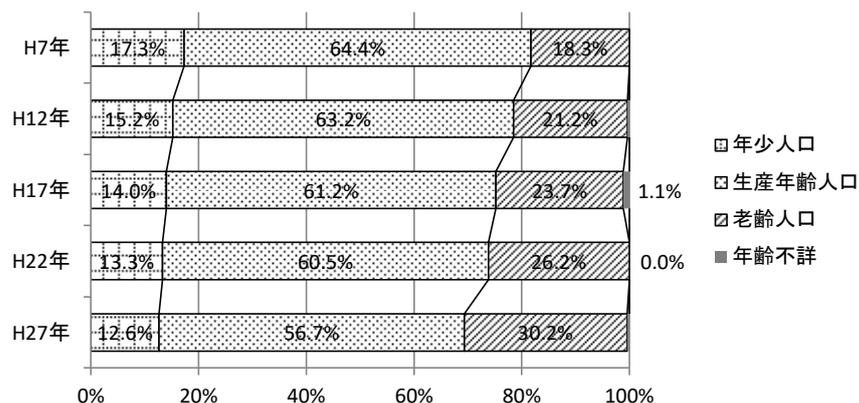


図 1-3 年齢・性別人口の推移

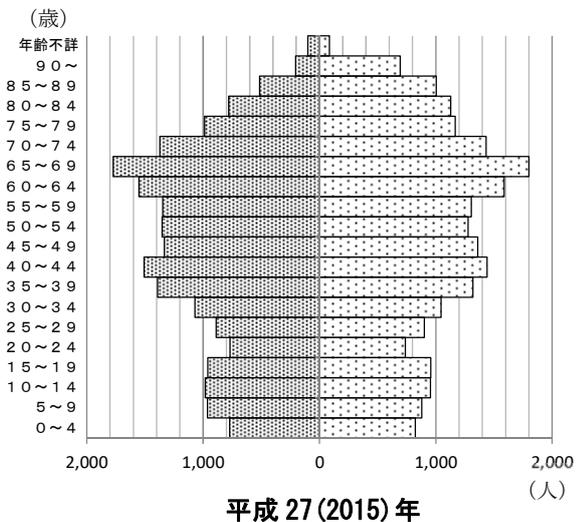
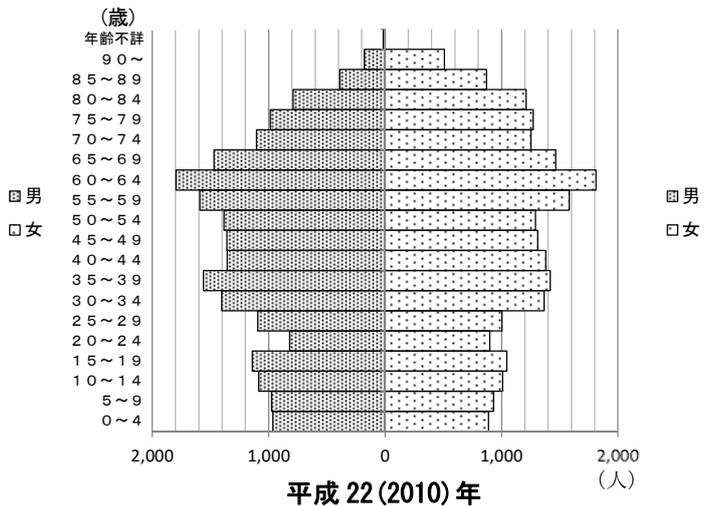
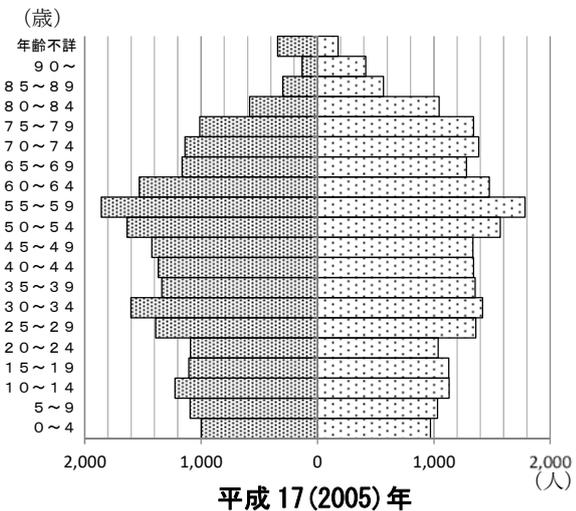
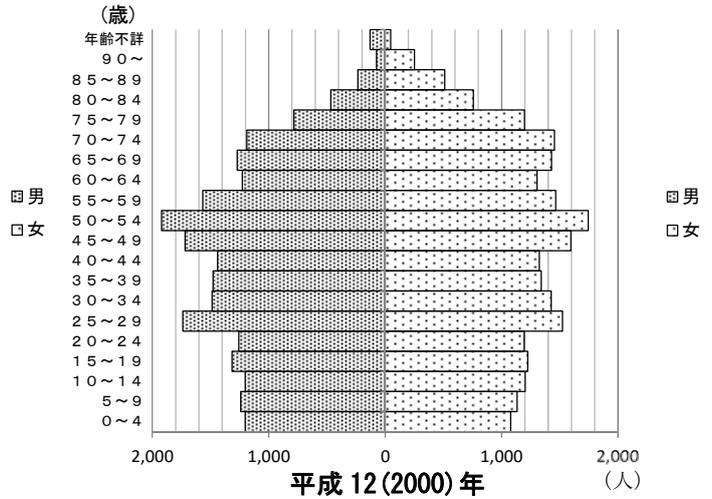
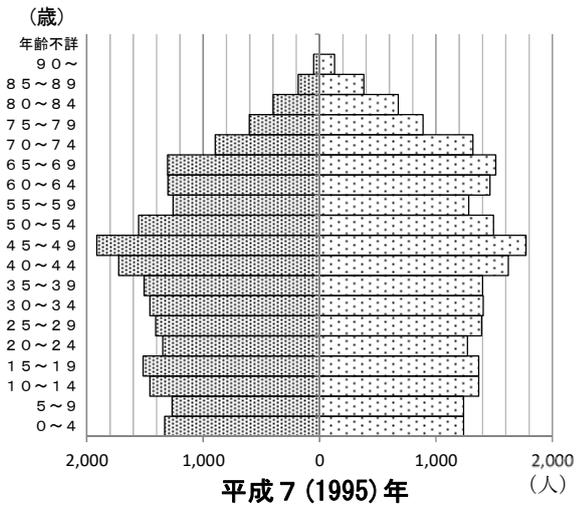


表 1-3 年齢構成指数の推移

単位：%

年	年少人口 指数	老年人口 指数	従属人口 指数	老 齡 化 指 数
H7 (1995) 年	26.8	28.3	55.2	105.7
H12 (2000) 年	24.1	33.5	57.6	138.8
H17 (2005) 年	22.9	38.7	61.6	168.7
H22 (2010) 年	22.0	43.2	65.2	196.4
H27 (2015) 年	22.3	53.4	75.6	239.4

年少人口指数=年少人口/生産年齢人口×100

老年人口指数=老年人口/生産年齢人口×100

従属人口指数=(年少人口+高齢人口)/生産年齢人口×100

老齡化指数=老年人口/燃燒人口×100

C0102 DID(人口集中地区)

本市の DID（人口集中地区）*は小諸駅周辺を中心としたエリアが設定されており、平成 27(2015)年の DID（人口集中地区）の面積は 199.0ha で人口は 5,345 人、人口密度は 27 人/ha となっている。DID の推移をみると面積は平成 2 (1990) 年（420.7ha）をピークに縮小の一途をたどっており、平成 2 (1990) 年と比較すると平成 22(2010)年には 7 割（297.7ha）、平成 27(2015)年には半分以下（199.0ha）まで縮小している。人口は昭和 60(1985)年(16,827 人)をピークに減少が続き、平成 27(2015)年にはピーク時の 31.8%(5,345 人)となっている。

※DID(人口集中地区)：市町村の区域内で人口密度が高い調査区が互いに隣接してその人口が 5,000 人以上となる地区

表 1-4 DID の推移

	人口集中地区			用途地域指定区域		用途地域指定区域に対する比率	
	面積 (ha)	人口 (人)	人口密度 (人/ha)	面積 (ha)	人口 (人)	面積ベース (%)	人口ベース (%)
昭和 55 年 (1980)	318.3	15,333	48	300.6	14,733	94.4	96.1
昭和 60 年 (1985)	393.6	16,827	43	361.1	15,818	91.7	94.0
平成 2 年 (1990)	420.7	15,671	37	368.9	14,335	87.7	91.5
平成 7 年 (1995)	394.6	14,734	37	359.1	13,496	91.0	91.6
平成 12 年 (2000)	377.4	12,876	34	347.0	12,062	91.9	93.7
平成 17 年 (2005)	370.8	12,263	33	339.5	11,424	91.6	93.2
平成 22 年 (2010)	297.7	8,767	29	278.8	8,537	93.7	97.4
平成 27 年 (2015)	199.0	5,345	27	193.6	5,169	97.3	96.7

資料：国勢調査

図 1-4 DID の推移

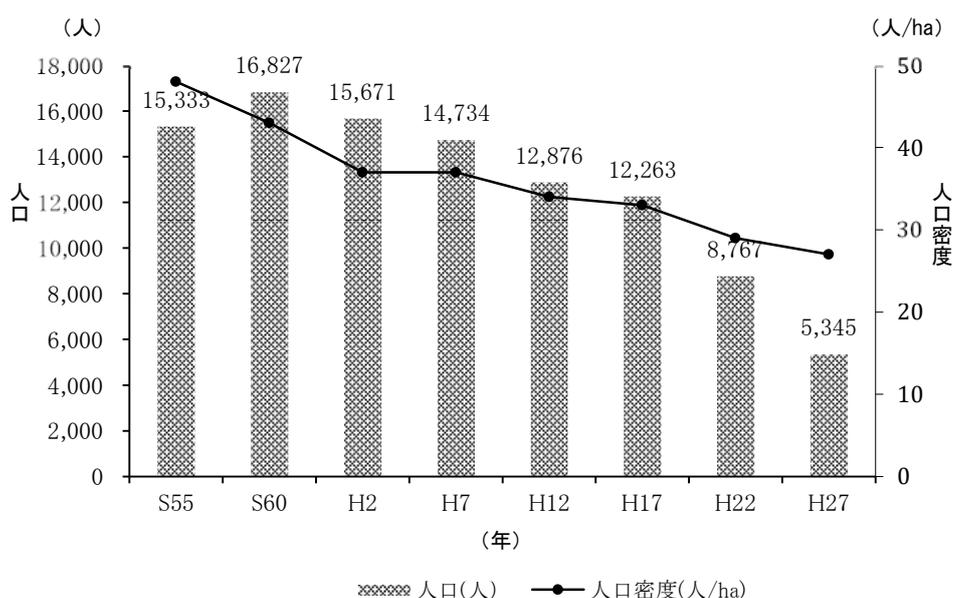
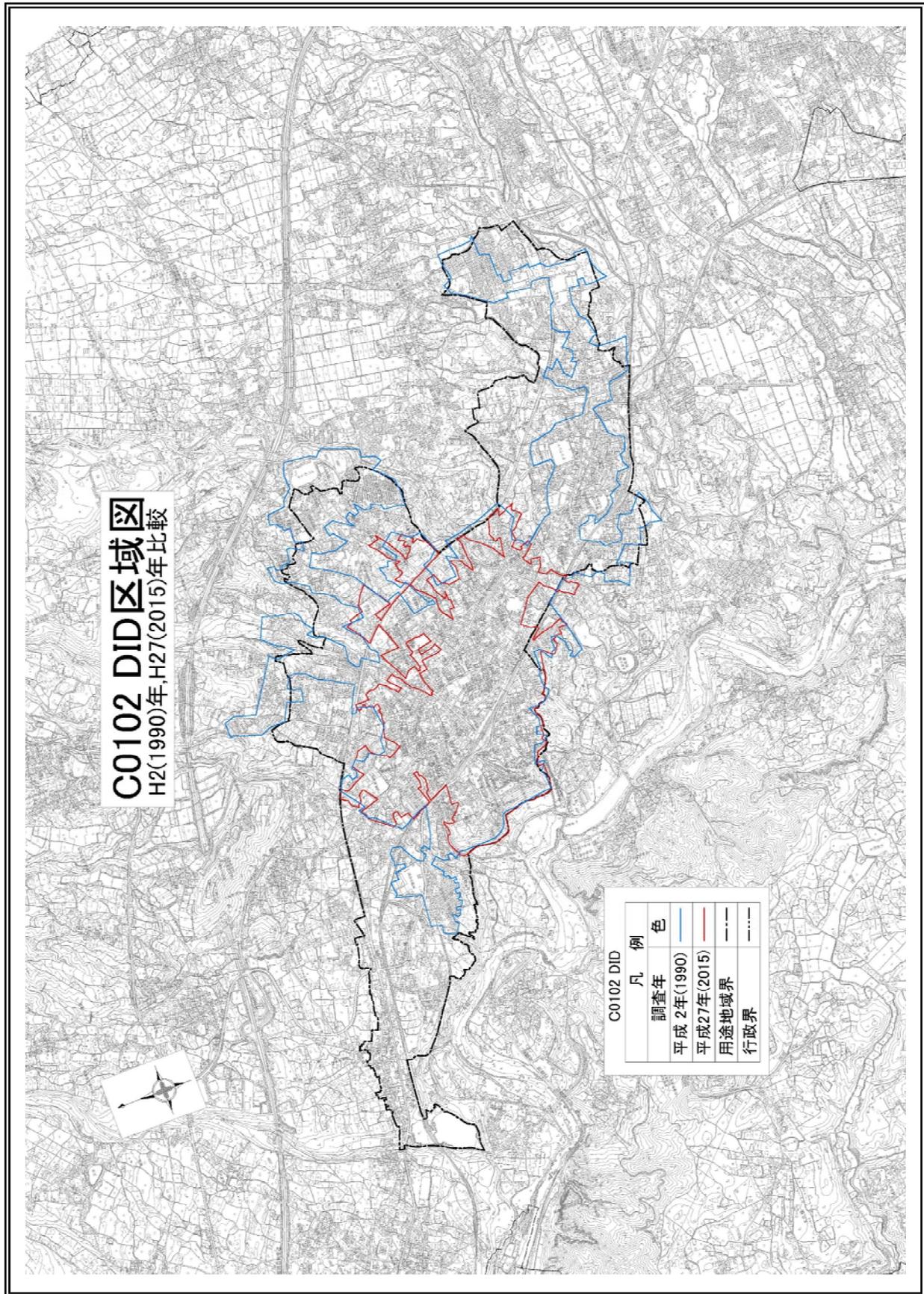


图 1-5 DID の区域図(平成 2(1990)年-平成 27(2015)年比較)



C0103 将来人口

国立社会保障・人口問題研究所による小諸市の推計人口は平成 27(2015)年から令和 27(2045)年まで減少傾向が続き、令和 27(2045)年には 30,326 人となると推計されている。年齢（3 区分）別人口でみると平成 27(2015)年から令和 27(2045)年の増減は年少人口が 2,385 人減（44.4%減）、生産年齢人口が 10,622 人減（43.9%減）、高齢人口が 821 人増（6.3%増）となっている。

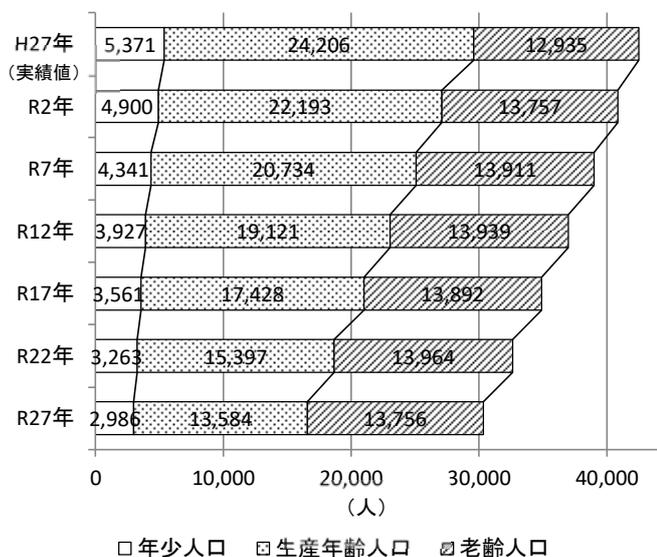
表 1-5 5 歳階級別人口推計

単位：人

年 階層	平成27年（2015） 実績値			令和2年（2020）			令和7年（2025）			令和12年（2030）			令和17年（2035）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
0～4	1,595	772	823	1,455	746	709	1,287	660	627	1,174	602	572	1,085	556	529
5～9	1,842	963	879	1,585	769	816	1,449	745	704	1,284	660	624	1,173	603	570
10～14	1,934	982	952	1,860	965	895	1,605	773	832	1,469	750	719	1,303	665	638
15～19	1,917	961	956	1,757	865	892	1,688	850	838	1,459	681	778	1,333	660	673
20～24	1,517	775	742	1,338	656	682	1,227	590	637	1,176	579	597	1,018	464	554
25～29	1,796	893	903	1,617	860	757	1,432	734	698	1,316	662	654	1,263	650	613
30～34	2,124	1,076	1,048	1,832	888	944	1,661	860	801	1,477	737	740	1,362	666	696
35～39	2,719	1,398	1,321	2,085	1,071	1,014	1,805	887	918	1,643	862	781	1,462	740	722
40～44	2,963	1,516	1,447	2,689	1,353	1,336	2,081	1,043	1,038	1,808	865	943	1,646	842	804
45～49	2,702	1,341	1,361	2,922	1,497	1,425	2,654	1,336	1,318	2,058	1,033	1,025	1,790	858	932
50～54	2,645	1,362	1,283	2,674	1,341	1,333	2,893	1,497	1,396	2,631	1,339	1,292	2,042	1,036	1,006
55～59	2,666	1,356	1,310	2,632	1,332	1,300	2,669	1,314	1,355	2,886	1,468	1,418	2,628	1,314	1,314
60～64	3,157	1,562	1,595	2,647	1,329	1,318	2,624	1,312	1,312	2,667	1,297	1,370	2,884	1,449	1,435
65～69	3,596	1,786	1,810	3,117	1,531	1,586	2,625	1,310	1,315	2,610	1,298	1,312	2,659	1,287	1,372
70～74	2,816	1,377	1,439	3,450	1,682	1,768	2,994	1,444	1,550	2,531	1,240	1,291	2,523	1,233	1,290
75～79	2,170	994	1,176	2,582	1,239	1,343	3,181	1,525	1,656	2,766	1,312	1,454	2,348	1,133	1,215
80～84	1,925	787	1,138	1,850	798	1,052	2,213	1,003	1,210	2,760	1,254	1,506	2,406	1,081	1,325
85～89	1,527	517	1,010	1,503	534	969	1,459	551	908	1,759	703	1,056	2,232	899	1,333
90～	901	205	696	1,255	298	957	1,439	348	1,091	1,513	378	1,135	1,724	461	1,263
年齢不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	42,512	20,623	21,889	40,850	19,754	21,096	38,986	18,782	20,204	36,987	17,720	19,267	34,881	16,597	18,284

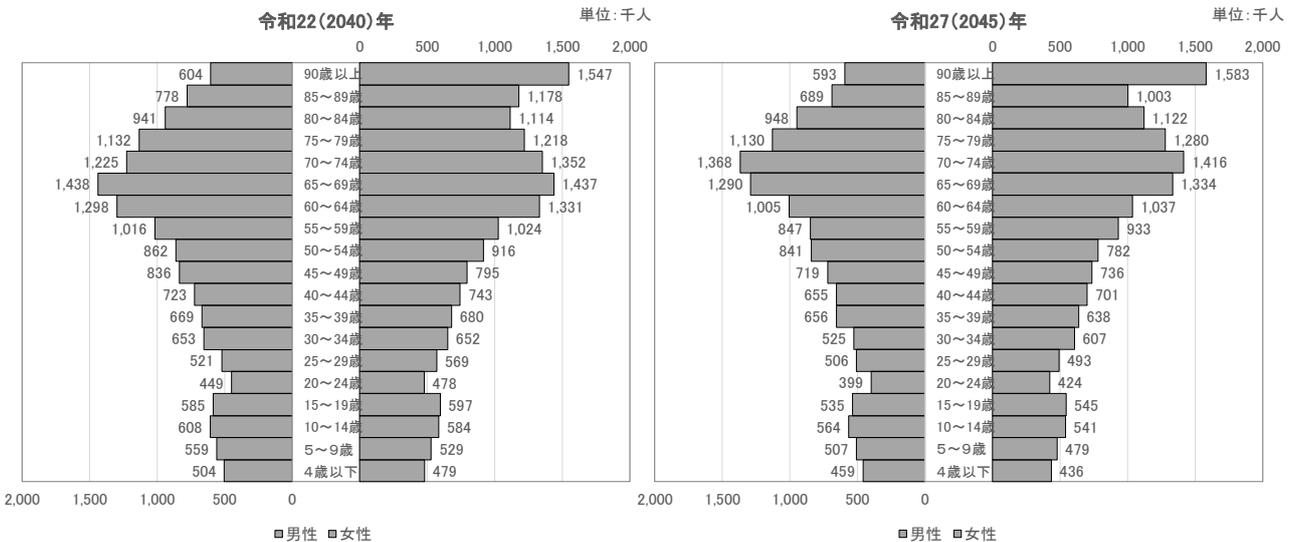
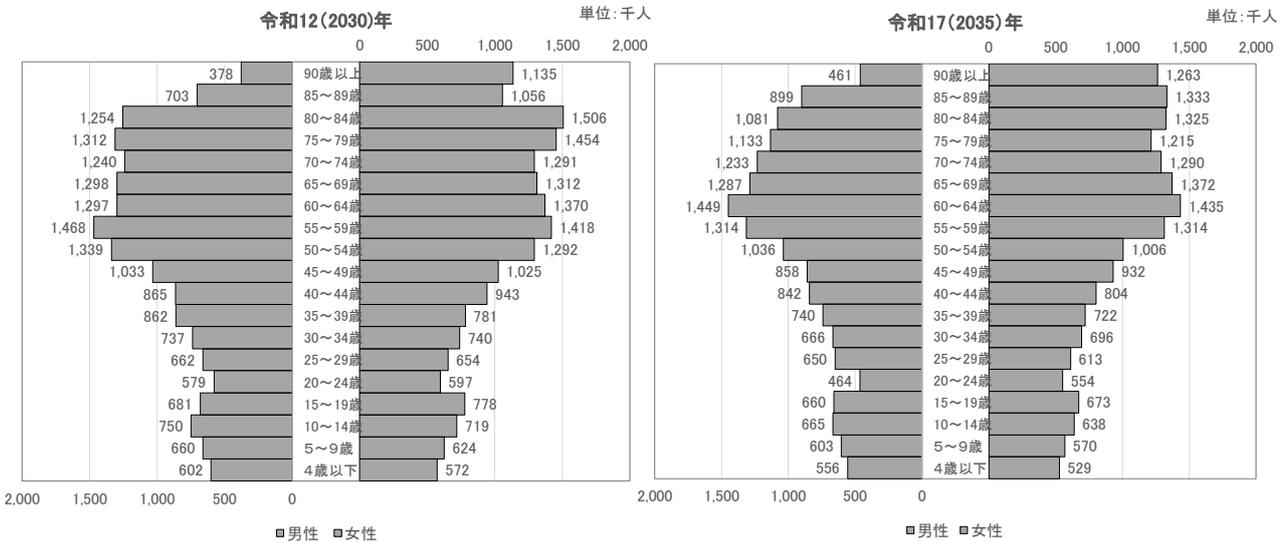
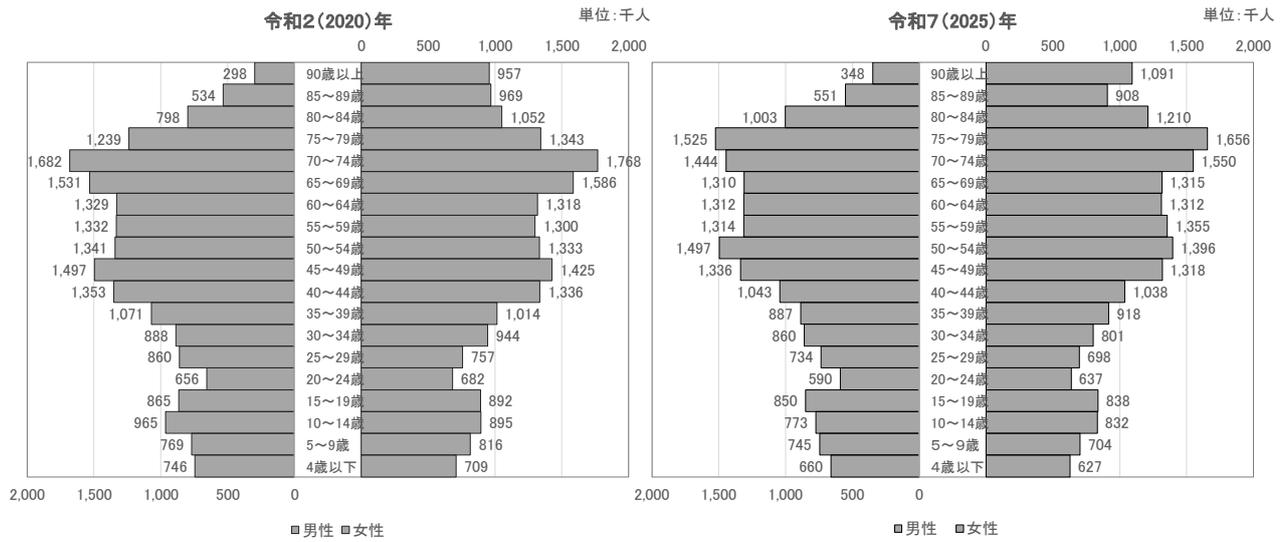
年 階層	令和22年（2040）			令和27年（2045）		
	計	男	女	計	男	女
0～4	983	504	479	895	459	436
5～9	1,088	559	529	986	507	479
10～14	1,192	608	584	1,105	564	541
15～19	1,182	585	597	1,080	535	545
20～24	927	449	478	823	399	424
25～29	1,090	521	569	999	506	493
30～34	1,305	653	652	1,132	525	607
35～39	1,349	669	680	1,294	656	638
40～44	1,466	723	743	1,356	655	701
45～49	1,631	836	795	1,455	719	736
50～54	1,778	862	916	1,623	841	782
55～59	2,040	1,016	1,024	1,780	847	933
60～64	2,629	1,298	1,331	2,042	1,005	1,037
65～69	2,875	1,438	1,437	2,624	1,290	1,334
70～74	2,577	1,225	1,352	2,784	1,368	1,416
75～79	2,350	1,132	1,218	2,410	1,130	1,280
80～84	2,055	941	1,114	2,070	948	1,122
85～89	1,956	778	1,178	1,692	689	1,003
90～	2,151	604	1,547	2,176	593	1,583
年齢不詳	0	0	0	0	0	0
合 計	32,624	15,401	17,223	30,326	14,236	16,090

図 1-6 年齢 3 区分別将来推計人口



資料：男女・年齢（5 歳）階級別データ「日本の地域別将来推計人口」（平成 25 年 3 月推計）国立社会保障・人口問題研究所

図 1-7 年齢別人口の将来推計



小諸市の人口推計は最小二乗法1次式・2次式・ロジスティック曲線及びコーホートモデルによる推計をおこなった。(参考資料—1参照)

なお、コーホートモデルは国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口(平成30(2018)年3月推計)」に依った。

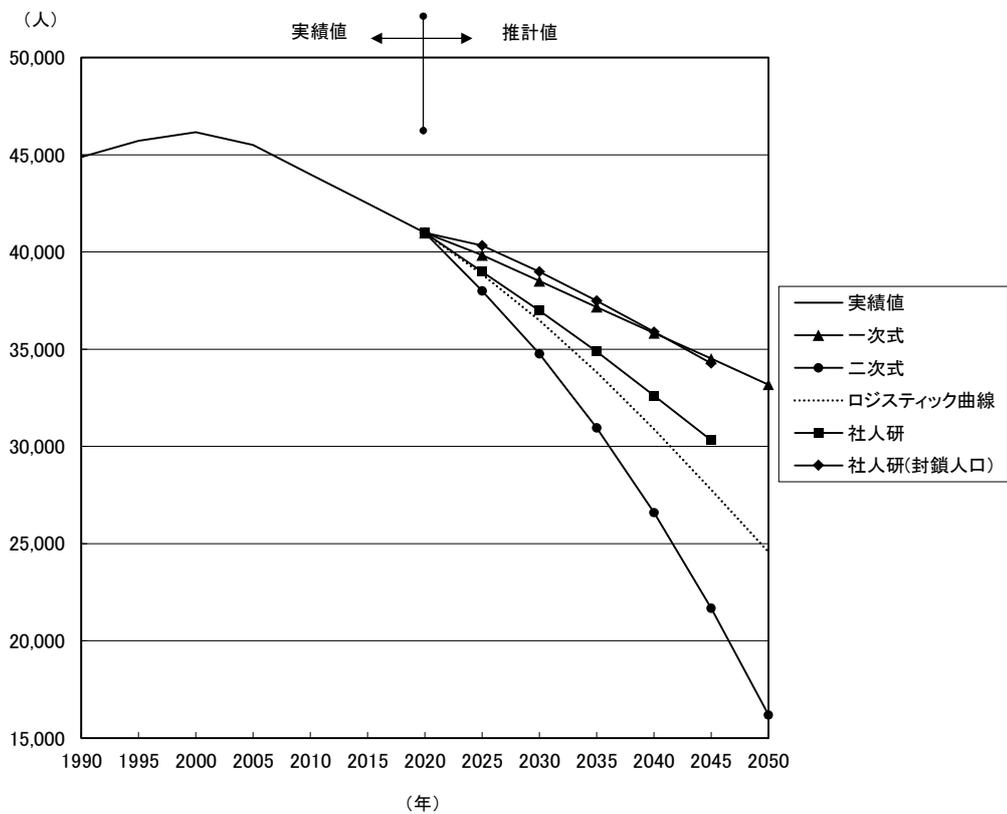
以下に、その結果を小諸市 総合計画(第5次基本構想)の推計値も併記して示す。

表 1-6 人口推計

		平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年) (10年後)	令和9年 (2027年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年) (20年後)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年) (30年後)	令和32年 (2050年)	備 考
行政 区域	実績値	42,512	40,991								
	一次式			39,835		38,503	37,171	35,839	34,507	33,175	
	二次式			38,009		34,767	30,964	26,599	21,674	16,187	
	ロジスティック曲線			38,853		36,485	33,817	30,894	27,785	24,583	
	国立社会保障・人口問題研究所推計			38,986		36,987	34,881	32,624	30,326		
	国立社会保障・人口問題研究所推計 (封鎖人口)			40,336		38,986	37,498	35,896	34,275		
	小諸市総合計画 (第5次基本構想)				38,279			33,705			

資料：国勢調査

図 1-8 人口の推移と将来推計



C0104 人口増減

行政区域の平成7(1995)年から令和2(2020)年までの約25年間における人口動態の推移をみると、平成11(1999)年(累計459人)をピークに減少が続き、令和2(2020)年では、-3,722人となっている。

自然動態においては平成15(2003)年以降、出生者数が死亡者数を下回ることにより減少が続いている。社会動態においては平成12(2000)年以降、転出者数が転入者数を上回っていたが、平成26(2014)年および平成27(2015)年、平成30(2018)年以降においては、転入者・転出者は同程度となっている。

表 1-7 人口増減の内訳(行政区域)

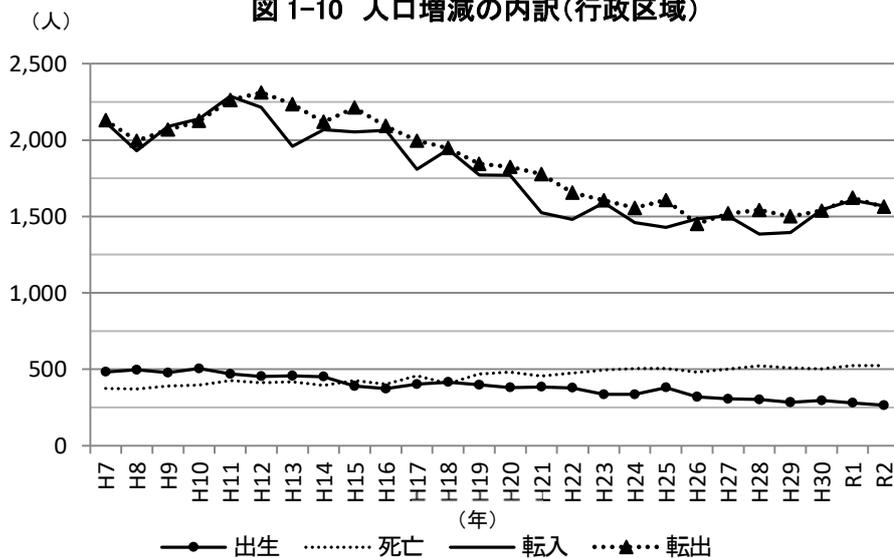
単位：人

年	累計	増加数	自然増	自然増		社会増	転入	転出
				出生	死亡			
平成7年(1995)		95	110	484	374	-15	2,115	2,130
平成8年(1996)	156	61	126	497	371	-65	1,931	1,996
平成9年(1997)	266	110	88	478	390	22	2,090	2,068
平成10年(1998)	390	124	109	505	396	15	2,140	2,125
平成11年(1999)	459	69	44	469	425	25	2,287	2,262
平成12年(2000)	402	-57	41	453	412	-98	2,213	2,311
平成13年(2001)	167	-235	39	458	419	-274	1,960	2,234
平成14年(2002)	172	5	56	451	395	-51	2,068	2,119
平成15年(2003)	-19	-191	-34	391	425	-157	2,054	2,211
平成16年(2004)	-74	-55	-29	373	402	-26	2,065	2,091
平成17年(2005)	-317	-243	-54	403	457	-189	1,807	1,996
平成18年(2006)	-316	1	11	417	406	-10	1,937	1,947
平成19年(2007)	-461	-145	-72	398	470	-73	1,771	1,844
平成20年(2008)	-619	-158	-102	380	482	-56	1,768	1,824
平成21年(2009)	-944	-325	-72	384	456	-253	1,524	1,777
平成22年(2010)	-1,217	-273	-98	378	476	-175	1,481	1,656
平成23年(2011)	-1,392	-175	-160	335	495	-15	1,590	1,605
平成24年(2012)	-1,658	-266	-168	336	504	-98	1,458	1,556
平成25年(2013)	-1,960	-302	-124	380	504	-178	1,429	1,607
平成26年(2014)	-2,091	-131	-163	319	482	32	1,484	1,452
平成27年(2015)	-2,302	-211	-195	305	500	-16	1,504	1,520
平成28年(2016)	-2,680	-378	-221	302	523	-157	1,385	1,542
平成29年(2017)	-3,009	-329	-225	284	509	-104	1,396	1,500
平成30年(2018)	-3,211	-202	-207	296	503	5	1,543	1,538
令和元年(2019)	-3,470	-259	-244	281	525	-15	1,607	1,622
令和2年(2020)	-3,722	-252	-259	265	524	7	1,570	1,563

資料：市民課



図 1-10 人口増減の内訳(行政区)



C0105 通勤・通学移動

1) 通勤

通勤者の動きを平成 7 (1995) 年から平成 27 (2015) 年でみると、常住地では平成 7 (1995) 年以降減少傾向が続いており、従業地では平成 22 (2010) 年まで減少傾向が続いていたが、平成 27 (2015) 年には増加に転じた。

平成 22 (2010) 年から平成 27 (2015) 年の 5 年間では流出人口が 761 人、流出率では 0.8pt 増加し、流入人口は 10 人増加、流入率では 1.0pt 減少している。

平成 27 (2015) 年における常住比率は 92.6% と 7.4% の流出超過である。

平成 27 (2016) 年における流出先の内訳は、佐久市 (3,504 人)、軽井沢町 (1,415 人)、上田市 (1,264 人)、東御市 (1,144 人)、御代田町 (944 人) の順となっている。流入先の内訳は、佐久市 (3,507 人)、東御市 (955 人)、上田市 (991 人)、御代田町 (788 人)、軽井沢町 (327 人) の順となっている。

表 1-8 流出・流入別人口推移(通勤)

年	常住地による 就業者数	流 出		従業地による 就業者数	流 入		従/常 就業者比率
		就業者数	流出率		就業者数	流入率	
平成7年 (1995)	(人) 24,469	(人) 6,966	(%) 28.5	(人) 24,709	(人) 7,206	(%) 29.2	(%) 101.0
平成12年 (2000)	23,874	8,013	33.6	23,380	7,519	32.2	97.9
平成17年 (2005)	22,571	8,234	36.5	21,620	7,283	33.7	95.8
平成22年 (2010)	20,266	8,474	41.8	19,528	7,536	38.6	96.4
平成27年 (2015)	21,687	9,235	42.6	20,087	7,546	37.6	92.6

資料：国勢調査

表 1-9 市町村別流出・流入先人口(通勤)

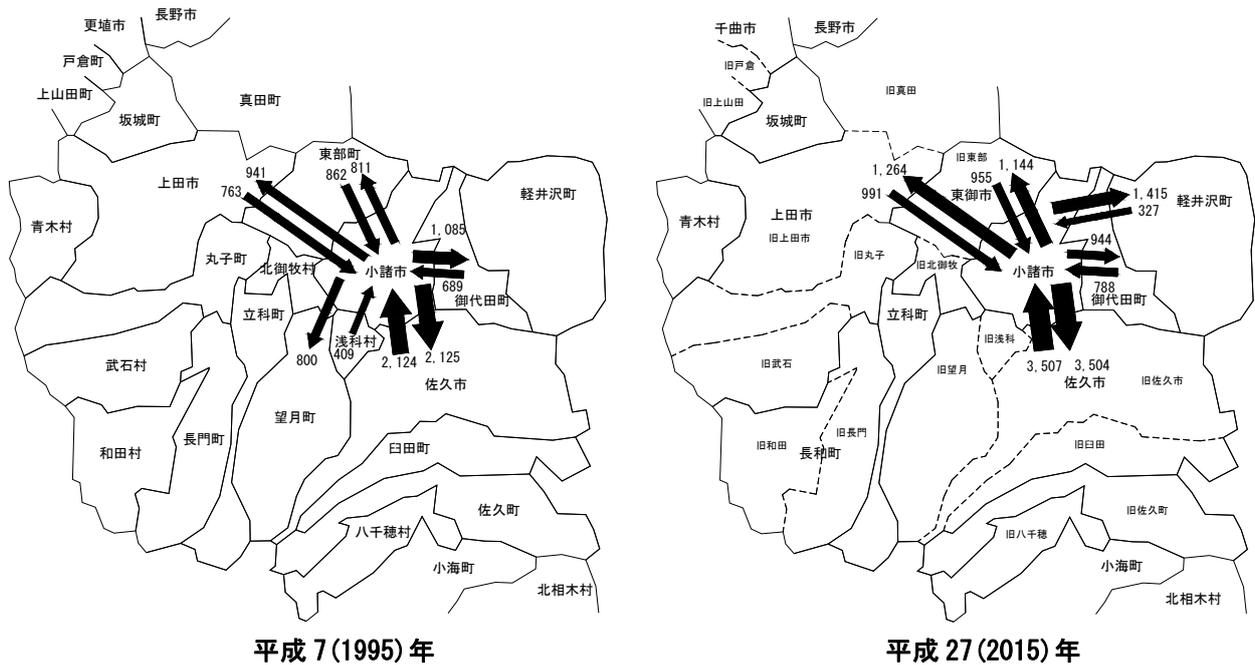
年	流 出 先								
	流出率第 1 位			第 2 位			第 3 位		
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率
平成7年 (1995)	佐久市	2,125	8.7	御代田町	1,085	4.4	上田市	941	3.8
平成12年 (2000)	佐久市	2,627	11.0	御代田町	1,092	4.6	上田市	978	4.1
平成17年 (2005)	佐久市	3,168	14.0	軽井沢町	1,160	5.1	御代田町	1,005	4.5
平成22年 (2010)	佐久市	3,221	15.9	軽井沢町	1,216	6.0	上田市	1,168	5.8
平成27年 (2015)	佐久市	3,504	16.2	軽井沢町	1,415	6.5	上田市	1,264	5.8
年	流 出 先								
	流出率第 4 位			第 5 位					
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率			
平成7年 (1995)	東部町	811	3.3	軽井沢町	800	3.3			
平成12年 (2000)	軽井沢町	926	3.9	東部町	833	3.5			
平成17年 (2005)	上田市	940	4.2	東御市	917	4.1			
平成22年 (2010)	御代田町	967	4.8	東御市	953	4.7			
平成27年 (2015)	東御市	1,144	5.3	御代田町	944	4.4			

年	流 入 先								
	流入率第 1 位			第 2 位			第 3 位		
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率
平成7年 (1995)	佐久市	2,124	8.6	東部町	862	3.5	上田市	763	3.1
平成12年 (2000)	佐久市	2,245	9.6	東部町	908	3.9	上田市	750	3.2
平成17年 (2005)	佐久市	3,283	15.2	東御市	1,065	4.9	御代田町	714	3.3
平成22年 (2010)	佐久市	3,497	17.9	東御市	1,060	5.4	上田市	971	5.0
平成27年 (2015)	佐久市	3,507	17.5	東御市	955	4.8	上田市	991	4.9
年	流 入 先								
	流入率第 4 位			第 5 位					
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率			
平成7年 (1995)	御代田町	689	2.8	浅科村	409	1.7			
平成12年 (2000)	御代田町	726	3.1	浅科村	423	1.8			
平成17年 (2005)	上田市	681	3.1	軽井沢町	363	1.7			
平成22年 (2010)	御代田町	752	3.9	軽井沢町	356	1.8			
平成27年 (2015)	御代田町	788	3.9	軽井沢町	327	1.6			

資料：国勢調査

- 注 1) 常住地による就業者数とは、当該都市に常住する(夜間人口ベース)就業者数を言う。
 従業地による就業者数とは、当該都市に従業する(昼間人口ベース)就業者数を言う。
 2) 流出率=流出就業者数/常住地による就業者数×100
 流入率=流入就業者数/従業地による就業者数×100
 3) (従/常)就業者比率=従業地による就業者数/常住地による就業者数×100

図 1-11 流出入状況図(通勤)



2) 通学

通学者の動きを平成 7(1995)年から平成 27(2015)年でみると、常住地では平成 7(1995)年以降減少傾向が続いており、通学地では平成 17(2005)年まで減少傾向が続き、平成 22(2010)年には僅かではあるが増加に転じたが、平成 27(2015)年では減少傾向となっている。

平成 22(2010)年から平成 27(2015)年までの 5 年間で流出人口が 303 人減少、流出率で 4.6pt 減少し、流入人口は 24 人減少、流入率で 2.2pt 増加している。

平成 27(2015)年における常住比率は 93.5%と 6.5%の流出超過である。

平成 27(2015)年における流出先の内訳は、佐久市(421 人)、上田市(264 人)、長野市(68 人)、軽井沢町(57 人)、立科町(17 人)の順である。流入先の内訳は、佐久市(303 人)、御代田町(114 人)、東御市(104 人)、上田市(92 人)、軽井沢町(84 人)の順となっている。

表 1-10 流出・流入別人口推移(通学)

年	常住地による 就学者数	流 出		通学地による 就学者数	流 入		従/常 就学者比率
		通学者数	流出率		就学者数	流入率	
平成7年 (1995)	(人) 2,508	(人) 1,222	(%) 48.7	(人) 2,093	(人) 807	(%) 38.6	(%) 83.5
平成12年 (2000)	2,331	1,309	56.2	1,831	809	44.2	78.5
平成17年 (2005)	2,206	1,306	59.2	1,704	804	47.2	77.2
平成22年 (2010)	2,136	1,247	58.4	1,763	847	48.0	82.5
平成27年 (2015)	1,756	944	53.8	1,641	823	50.2	93.5

資料：国勢調査

表 1-11 市町村別流出・流入先人口(通学)

年	流 出 先								
	流出率第 1 位			第 2 位			第 3 位		
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率
平成7年 (1995)	佐久市	(人) 690	(%) 27.5	上田市	(人) 167	(%) 6.7	軽井沢町	(人) 135	(%) 5.4
平成12年 (2000)	佐久市	659	28.3	上田市	217	9.3	長野市	160	6.9
平成17年 (2005)	佐久市	533	24.2	上田市	317	14.4	長野市	139	6.3
平成22年 (2010)	佐久市	522	24.4	上田市	327	15.3	長野市	132	6.2
平成27年 (2015)	佐久市	421	24.0	上田市	264	15.0	長野市	68	3.9
年	流 出 先								
	流出率第 4 位			第 5 位					
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率			
平成7年 (1995)	軽井沢町	(人) 135	(%) 5.4	長野市	(人) 109	(%) 4.3			
平成12年 (2000)	長野市	160	6.9	軽井沢町	93	4.0			
平成17年 (2005)	長野市	139	6.3	軽井沢町	82	3.7			
平成22年 (2010)	長野市	132	6.2	軽井沢町	64	3.0			
平成27年 (2015)	軽井沢町	57	3.2	立科町	17	1.0			

年	流 入 先								
	流入率第 1 位			第 2 位			第 3 位		
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率
平成7年 (1995)	佐久市	(人) 201	(%) 9.6	御代田町	(人) 162	(%) 7.7	軽井沢町	(人) 96	(%) 4.6
平成12年 (2000)	佐久市	158	8.6	御代田町	121	6.6	軽井沢町	120	6.6
平成17年 (2005)	佐久市	254	14.9	東御市	120	7.0	御代田町	95	5.6
平成22年 (2010)	佐久市	309	17.5	東御市	128	7.3	御代田町	119	6.7
平成27年 (2015)	佐久市	303	18.5	御代田町	114	6.9	東御市	104	6.3
年	流 入 先								
	流入率第 4 位			第 5 位					
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率			
平成7年 (1995)	浅科村	(人) 57	(%) 2.7	望月町	(人) 47	(%) 2.2			
平成12年 (2000)	望月町	59	3.2	浅科村	51	2.8			
平成17年 (2005)	軽井沢町	89	5.2	上田市	43	2.5			
平成22年 (2010)	軽井沢町	87	4.9	上田市	64	3.6			
平成27年 (2015)	上田市	92	5.6	軽井沢町	84	5.1			

資料：国勢調査

- 注 1) 常住地による就業者数とは、当該都市に常住する(夜間人口ベース)就業者数を言う。
 従業地による就業者数とは、当該都市に従業する(昼間人口ベース)就業者数を言う。
 2) 流出率=流出就業者数/常住地による就業者数×100
 流入率=流入就業者数/従業地による就業者数×100
 3) (従/常)就業者比率=従業地による就業者数/常住地による就業者数×100

图 1-12 流出入状况图(通学)

